

～成年後見制度を安心して使いやすいものにするために、みなさんの身近で活動します。

ほっと

NPO法人 ほっと 会報

〒590-0048

堺市堺区一条通19-13 上笠ビル2階

☎ 072-228-3011 FAX 072-228-3012

E-mail npo-hot@nifty.com

NO.60 発行:2024年(令和6年)6月11日

昨年、ほっとが法人後見を受任したAさん 定期訪問を開始 ご本人の「人となり」と歩む

昨年2023年に法人後見として受任したAさん、毎月1回の定期訪問を開始しました。

後見受任時の書類上でのご本人の疾病や障がい状況はわかるものの、ご本人の「暮らし」や「人となり」を知っていくための活動となっています。

入居しているグループホームでは、作業所から帰宅後、入浴準備をすませ、自室に好きな本を並べたり、画用紙を使っての工作作業を楽しまれています。ご本人の口数が少ないことから、キーパーさんから補足説明を受けて訪問記録を記入していきます。

Aさんの画用紙を使った工作作品は、実に細かなところまで再現されています。三両編成の電車やTVで放映されていたアップダウンクイズの会場などが大切に保管されていました。特にアップダウンクイズの再現には工夫されていて、回答者の上下も可能となっているつくりでした。Aさんの自室で見せてもらう時にアップダウンクイズの回答者の人数が合わず、「一人足らへん!」とキーパーさんと二人で探す姿は微笑ましく見せてもらいました。見つかった後は大切に、立ち位置も修正しながら回答者位置にセットして机の上に飾られていました。

ホームで、ゆっくりと自分の時間を過ごされていることが想像できる場面となりました。これからは、Aさんの「暮らし」をご本人やキーパーさんから教えてもらい、共に歩んでいけるように支援をしていきたいと思っています。

三両編成の電車やTVアップダウンクイズなど
画用紙を使った素晴らしい工作作品♪



NPO法人 ほっと

第18回通常総会 開催のご案内

日時: 6月14日(金)10時30分~11時50分

場所: 堺市総合福祉会館 大研修室

みんなが幸せに

▼先日のTBS報道特集で、能登半島地震後の現地の状況を伝えていた。震災後5ヶ月以上経つのに、現地(珠洲市、輪島市)では、倒壊した建物の解体処分すら進んでいない。「これほど長期にわたって放置されているのを見たことない」「重機の音も聞こえない」と告発していた▼阪神大震災でも、東日本大震災でも、熊本地震でも「こんなことはなかった」「東京、大阪で起こっていたら、こんなことは許されるのでしょうか?」と述べていた▼一方、電気も水道も通っていない中で暮らす住民は、「私たちは見放されているのでしょうか?」と。言葉が生まれません。

▼ボランティアで現地に行かれていらっしゃる方には、頭が下がります。また、堺市等各自自治体職員も現地に支援に入っている。心強い限りです▼それでも、現地の実態はTBSの報道である。避難時間が経てば経つほど、避難した人々が帰ろうにも帰れなくなってしまう。▼何よりも、一日も早く重機も投入してまらと暮らしの復興が求められている。政府挙げての復興支援を!(M)

今春に採用された職員の方々は、日々新鮮な経験の真つただ中です。そこで、今どう感じてもらえるのか、お二人の職場に寄せて頂き、お話を伺いました。

「ほくぶ作業所のYさん」

福祉を志したきっかけは？

Q 福祉ではなく、大学の英文科出身だとお聞きしました。なぜ、福祉の仕事に？
Yさん 実は、学生時代に書店でアルバイトをしてい



職員A氏が描いたYさん

た時、聴覚障害のあるお客さんの対応に少し時間がかかり、その時に、正職員の人が、早く終わらせようとする「効率優先」の態度に違和感を覚えたんです。それまでは、一般企業へ就職しようと思っていました。でも、このままでは「自分もこれに染まってしまう」と思い福祉の仕事に携わりたと思ったのです。

仲間の笑顔に、私も嬉しくなります♪

Q 就職されて1ヶ月半で

すが、どうですか？
Yさん 新しい世界を見ているようです。みなさんは、コンビニに行つて買い物をするのは当たり前かも知れませんが、でも、仲間にとっては、当たり前ではありません。1ヶ月働いた給料を使つてみんなで欲しいものを買う取り組みなのです。4月の給料日にみんなでマクドナルドに行きました。みんなに欲しいものを聞いて、車で向かう時の仲間の笑顔が忘れられません。

5月の給料日には、お店の中にあるイートインに入つてみんなで食べました。嬉

しくて直ぐに食べてしまう人、ゆっくり食べる人、人それぞれ。何しろみんな笑顔です。私も嬉しくなりました。

4月、5月と行動が広がりました。なので、6月、7月と夢が膨らみます。

仲間と一緒に仕事するって、大事なと痛感します

Q 日頃の仕事は、どうですか？

Yさん 私は、空き缶つぶしや小さなネジ等の袋詰めの中にいます。朝、作業所に来た時には元気なさそうな顔をしていた仲間も一緒に作業・仕事をしていると笑顔になり、帰りには元気

な笑顔になっています。仲間と一緒に仕事をするって本当に大事だと思います。

「利用者さん」ではなく、「仲間」と呼んでいることに感謝

Q 職場の雰囲気はどう？

Yさん 楽しいです。自分からいいことは優しく教えてもらえますし、何しろ、聞きやすいのです。この環境はありがたいです。

コスモスでは、「利用者さん」ではなく、「仲間」と呼んでいることに感謝を受け、コスモスに就職したいと思ったんです。研修で来たほくぶ作業所の職場の雰囲気も良かったですし……

福祉を担う新しい力・新規採用者のお二人にお聞きしました

「仲間」とともに笑顔をつくりたい♪

「おほま作業所Hさん」

就職されたきっかけは？

Q 大学では、保育を学ばれたのですが、障がい者施設に行こうと思われたきっかけはなんですか？
Hさん 実習では幼稚園と

保育園にも。2回目の実習に障がい者施設（おほま作業所）に2週間行きました。そこでやりがいを感じたんです。豊かな表情の人、無表情の人と、表情はみんないろいろです。でも、好きなことを話す時の仲間の笑顔に、喜びを感じました。

仲間との仕事・生活、これからが楽しみ♪

これからの仕事・生活

Q ところで、就職されて1ヶ月半になりますか？
Hさん 楽しくて仕方ありません。実習させてもらったのが、このおほま作業所なので、ここに配属して貰えて良かったです。

縫製班で、動物マグネットや布巾、ティッシュケースなどを仲間と一緒に作っています。ビーズの好きな人がいて、素敵な飾りの付

ています。仲間との朝の挨拶も、元気な人とそうでもない人と反応はいろいろなんです。これからどうなっていくのか、楽しみにしています。

土曜日にも月に2回午前中、クラブ活動しています。スポーツや音楽、リクレーショ

の行動に東京に行くことになりました。国会議場に参加します。私で良いのかなと思う、少し緊張しますが楽しみにしています。

この仕事を長くやっていきたい！

Q 職場はどうですか？

Hさん 職場の方たちは、みんな話しやすいです。気軽に声をかけてもらい嬉し

く、楽しいです。この仕事を長くやっていきたいと思っています。実は、今度きょうされんの行動に東京に行くことになりました。国会議場に参加します。私で良いのかなと思う、少し緊張しますが楽しみにしています。



仲間が描いたHさん

「職員と利用者」という関係ではなく、一緒に施設づくり生活する「仲間」として、対等の立場で関わっている事に魅力を感じました。

お二人の人間性・優しい眼差しに触れ、メモを取りながら、涙がこぼれてしまいました。前を向いて歩んでおられるお二人に未来あれ！と願うばかりです。

NPO法人ほっと

生活支援員交流会

日時：2024年7月19日 10：30～12：00

場所：ほっと事務所 3F

お茶菓子代
として300円
お願いします。

- ・ほっとの法人後見活動を知りたい方
- ・成年後見制度そのものに関心のある方
- ・ほっとが日常的にどのような活動を行っているのか知りたい方
- ・将来 成年後見制度を使おうとは思っているけど、どんな制度か知りたい方
- ・ほっと生活支援員を一度体験してみたい方

学習会や報告会のような形ではなく、参加者皆さんとの交流を第1に考えた取り組みにしたいと思っています。お気軽にご参加ください。

※下記 参加申し込み用紙に、ご記入の上、FAXもしくはお電話でも受付けます。

南海高野線
堺東駅南に150メートル
新町交差点を右折



氏 名	住 所	連 絡 先

主催：特定非営利活動法人ほっと

〒590-0048 堺市堺区一条通19-13 上壁ビル2F

FAX：072-228-3012

Te l: 072-228-3011 (受付時間 9:00～17:00)

成年後見アンケート報告集会のお知らせ

昨年12月から堺市内の障がい者通所事業所を利用されている1200名を対象に成年後見制度に関するアンケートを実施し、445名の方から回答をいただきました。

障がい者のご家族・ご本人が、成年後見人にどのような期待や不安をお持ちなのか。そしてこれからの制度に何が必要なのかを共に考えていく資料になればと実施しました。

アンケートにご協力いただいたご本人・ご家族・事業所の皆様はもちろんのこと、成年後見制度にご関心のある方はぜひご来場ください。

記念講演：「成年後見制度の役割」大阪弁護士会 久岡英樹弁護士

日時：8月2日(金) 10:30～13:00

場所：堺市立東文化会館 生涯学習館 研修室

10:00 受付
10:30 開会 開会あいさつ
10:40 アンケート分析報告 芦屋大学講師 高倉 弘士氏
11:40 トークタイム
12:00 記念講演 大阪弁護士会 久岡 英樹弁護士
12:45 質疑応答
13:00 閉会

生涯学習館は「アミナス北野田」3Fにあります。

当日 資料代として500円をお願いいたします。

会場へのアクセス

南海高野線「北野田」駅より
徒歩2分
堺市東区北野田1077-301



主催：特定非営利活動法人ほっと

〒590-0048 堺市堺区一条通19-13 上塾ビル2F

TEL: 072-228-3011 (受付時間 9:00～17:00)

Fax: 072-228-3012

「成年後見制度に関するアンケート調査」 ご協力ありがとうございました!

445名の方々からご回答を頂きました

昨年末から年明けという超多忙な時期にお願いしました「成年後見制度に関するアンケート調査」に、445名の方々からご回答を頂きました。本当にありがとうございました。

ご回答には、41%の方が自由記述欄に記入して頂いています。「途中で止められない?」「本人が思うようにお金を使えないのでは?」「本人のことをもっと知って欲しい」「報酬額のこと」等の不安な気持ちとともに、「本人らしい生活を送れるように支えて欲しい」との親亡き後の成年後見制度への願いが込められています。頂いたご回答を集計・分析して、今後の活動に生かしていきます。

報告集会は、8月2日開催

高倉弘士先生からのメッセージ

成年後見制度アンケート調査にご協力いただき、誠にありがとうございます。445名の方からご回答をいただきました。また、障がいのあるご本人の平均年齢は、40歳でした。

「障がいのあるご本人がどのような生活の楽しみを持っているか(複数回答)」を聞いたところ、外食(208名)、買い物(183名)、散歩(179名)、カラオケ(118名)、旅行(116名)でした。そのほかにも、スポーツ観戦や、折り紙、トミカ集め等、豊かな楽しみを持って生活されていることがうかがえました。

一方で、「障がいのあるご本人の生活環境(複数回答)」についてお聞きした結果は、「家族と同居」が一番多く281名、ついで、グループホーム146名、入所施設12名、一人暮らし8名という結果になりました。この結果から、家族の支えがなくてはならない存在となっていることがうかがえます。

「将来(親亡き後)、1番の不安は何ですか」という質問には、「生活の場」が275名と一番多く、次いで「健康面」164名、「経済的なこと」70名という順でした。生活の場や健康面が上位でした。

成年後見人制度では、被後見人の生活や健康・療養に関する支援を行うことができ、こうした不安と一緒に考えあえることができるかもしれません。どのようにすれば、障がいのある人の意思と選択が尊重されるのか、皆さんからいただいた声から明らかにしたいと考えています。

頂いたご家族・関係者からの

“実情・生の声”をまとめ、

今後に活かします



寄せられたアンケート用紙